

## テーマ(他教科と道徳授業の関連の工夫)

指導者 T1 河本 聖志

T2 福田 裕子

1 学年 第1学年

2 主題名 「ありがとうの気持ちを持って」 (2-(4)感謝)

3 ねらい 日頃お世話になっている人々に感謝する心情を育てる。

4 資料名 「でんしゃのトーリー」(出典:「小学校 道徳 1 みんななかよく」 東京書籍)

### 5 本時の主題について

児童は日頃自分がお世話になったり、支えてくれたりする人々の存在に気づき、その思いや願いを理解することは、感謝の気持ちを深める第一歩となる。その人々に対して心から「ありがとう」と言えるようになるとともに、将来は自分も周りの人々のために役立とうとする意欲を持てるようにしたい。

### 6 本時の主題に係る児童生徒の実態について

自分の周りには世話をしてくれる人が大勢いるという意識は広がりつつある。しかし、あまりにも日常的であるため、その行為や配慮を当然のことと思う児童も少なくない。また、自分よりも年上の人ができることには、すぐに気づき感謝を言葉で表すことができるが、同学年の子や年下の子がしてくれたことに対しては、なかなか素直に感謝を言葉で表すことができていないように感じられる。

誰からであっても、自分のためにしてくれる何気ない行為にも支えてくれる人の思いが込められていることに気づき、感謝の気持ちを表すことができるようにしたい。

### 7 資料について

電車のトーリーは、毎日お客さんをいっぱい乗せて走る人気者だ。でも、トーリーが活躍できるのは、整備士や保線作業員など多くの人々のおかげだ。本資料は、自分を支えてくれる人々の存在について、トーリーが語りかけてくる展開になっており、児童にとって親しみやすい。自分を支えてくれる人々へのトーリーの思いに十分共感させるようにしたい。

### 8 指導過程の工夫

#### ① テーマに係っての工夫

本学級の児童は、今学期に生活科の学習の中で学校探検を行っている。その活動を通して、学校ではたらいっている人がたくさんいることや、自分達が毎日お世話になっていることなどを知ることができた。この学習と関連付けながら、本時の主題に気付かせていきたい。

授業の後半部分では、日頃どんな人によってどんなことでお世話になっているか考えさせる。また、国語科の学習では、「てがみでしらせよう」の単元においてお世話になっている人にお礼の手紙を書かせる。

#### ② 発問の工夫

登場人物の気持ちを考えるときに、単に「どう思ったか」を聞くのではなく、身近な例を手立てとして考えさせたり、もし自分だったらどうか考えさせたりしたい。そうすることで、お話を自分のこととし

てとらえられるようになると考える。

### ③ 導入・展開・終末の工夫

導入の場面で、教職員の写真を提示することで、自分たちが毎日お世話になっているということを想起させ、今日の学習のねらいを意識できるようにする。その後、「でんしゃのトーリー」のお話を読む時は、板書の工夫をし、トーリーとトーリーを支える人々の関係を視覚的にとらえられるようにしたい。また、自分とトーリーを重ね合わせながら、読み進めるようにするために身近な事例と結びつけながら考えさせたい。終末では、学校以外でお世話になっている人々を考えるとともに、どのようなことでお世話になっているのか話し合うことで、自分達がトーリーと同じようにたくさんの人に支えられながら生活していることに気付かせたい。そして、その中から手紙を書く人を選び手紙を書くことを通して、感謝の気持ちをしっかりと表せるようにしたい。

## 9 準備物

ワークシート 挿絵のコピー 教職員の写真

## 10 授業の展開例

	学習活動	主な発問と予想される 児童生徒の心の動き (◎中心発問)	指導形態		指導上の留意点 (☆評価の観点)
			T1	T2	
導入	①学校の中でお世話になりながら生活していることを想起する。	○学校の中で、どんな人にどんなことでお世話になっていますか。 ・校長先生から、いろいろな話をしてもらって、知らなかったことを知ることができました。 ・松本先生に、けがをした時に手当てしてもらいました。	発問	掲示	・生活科の学習が想起できるように、生活科のプリントを振り返る。
	②「でんしゃのトーリー」をよんで話し合う。	○トーリーは、どんな時に「ようし、がんばるぞ。」と思いますか。 ・男の子に、カッコいいねって言われた時。 ・女の人から助かるわと言われた時。  ◎トーリーはどんな人のおかげで元気に走ることができますか。 ・モーターのねじが緩んでいないか調べてくれる人。 ・車輪にひびが入っていないか調べてくれる人。 ・ブラシでこすって洗ってくれる人。	範読 発問  発問 机間指導	掲示 板書  机間指導 板書 発問	・感謝の言葉を聞くことで、やる気が出てくることをおさえる。  ・大勢の人々の支えによってトーリーは毎日元気に走行できることをおさえる。

展 開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・線路を守る係の人。 (古くなった線路を取り換えてくれる人)</li> </ul> <p>○もし自分がトリーだったら、お世話をしてくれる人たちにどんな風に言いたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもありがとう。</li> <li>・助かります。</li> <li>・これからもがんばるね。</li> </ul>	発問	板書 発問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリーの言葉を考えやすくするために、ワークシートのトリーに吹き出しをつけ、書き込ませ、お世話になっている人々に感謝する心情に迫る。</li> <li>☆トリーの心情を共感的に考えることができたか。(ワークシート)</li> <li>・自分がお世話になっている人を考えられるようにする。</li> </ul>
	㊦日頃どんな人になんかでお世話になっているか考えよう。			
	③日ごろお世話になっている人達について考える。	発問 机間指導	机間指導 板書 発問	
終 末	④今日の学習を振り返る。	発問 机間指導	机間指導	☆身近な人にもいろいろなことで支えられていることに気付くことができたか。(ワークシート)

## 11 板書例

ありがとうございます。

せんろを  
まもるひと

しゃたいを  
あらうひと

しゃりんを  
てんけんするひと

かっこいいね。

たすかるよ。

でんしゃのトリー

教職員

教職員

教職員

教職員

○おかあさん  
まいにち、ごはんをつくってくれます。

○バスをうんでんしゅさん  
いつもあんぜんにうんでんしてくれて。

㊦どんなひとになんかでお世話になっているかかんがえて、てがみをかこう。

